

甲府労働基準監督署 労災第二課補償係長

細沼 央

令和5年5月 入省(社会人選考採用)

令和5年5月 現職

志望動機

これまで民間のメーカーで就労してきましたが、メーカーの社員でありながら、総務・経理というポジション柄、直接ものづくりに携わることがなく、どこか物足りなさを感じていたところ、知人から労働局の求人を勧められました。

前職では、たくさんの人と関わり、成功も失敗もしながら多くの経験をし、働くことで少なからず自分自身を成長させ、「働くこと」の意義を感じてきました。

労働局のことを調べていく中で、「働くこと」という1つの大きなカテゴリーで、専門性のある仕事ができるところに魅力を感じました。





現在の業務内容

現在は、仕事や通勤で災害に被災された労働者への労災補償の給付に係る業務を中心に行っています。労災補償給付においては、認定の要件や基準などが細かく定められているため、知識の習得など覚えることの範囲がとても広く大変ですが、疑問に思ったことや分からないことは、周りの職員の方々に聞くようにしています。

みなさんそれぞれの業務で忙し中、誰に聞いても手を止めて教えてくださるので、とても感謝しています。

プライベートとの両立

毎月1回休みを取るマンスリー休暇がありますが、午前中に近所の公園でジョギングをして、その後、おいしいランチを食べに行ったりと、平日に休むという今までにない時間の過ごし方が出来るようになりました。

また、前々から息子がサッカーをしたいと言っていましたが、帰り時間が遅く送り迎えが出来ないため、させてあげられませんでした。転職後は、すぐにスポ少に入団し、送り迎えをしながら、練習の様子をみたり、土日の試合も見に行ったりしています。時間の使い方が大きく変わり、プライベートが充実しています。

入省希望者(受験者)へのメッセージ

私は社会人採用枠で入省しましたが、40代での転職には最後まで迷いました。ですが、10年後、15年後、労働局で働いていて良かったと思えるかどうかは、自分がここでどのように働くかだと考えています。良くするも悪くするも自分次第です。

労働行政という仕事は、業種に関係なく全ての働く人が対象になるため、その分困難なことも多くありますが、事業場や労働者の支えになることができる非常に魅力的な仕事だと感じています。一緒に働くことを楽しみにしています。

